



大井町原
にへい さち
仁平 紗知さん(17歳) (写真右)

□プロフィール
恵那東中学校を卒業後、多治見西高等学校へ進学。ソフトボール部でのポジションはピッチャー。将来の夢はスポーツの経験を生かして柔道整復師になること。K-POPの音楽を聴くことが好き。

大井町関戸
ばば れな
馬場 玲奈さん(17歳) (写真左)

□プロフィール
恵那東中学校を卒業後、多治見西高等学校へ進学。ソフトボール部でのポジションはセカンド。将来の夢は社会に貢献できる警察官になること。音楽を聴いたり歌ったりすることが好き。

ソフトボール全国大会で優勝 チームメイトと共につかんだ栄光

令和6年3月16日～3月19日に富士山スタジアム(静岡県富士宮市)で行われた、第42回全日本高等学校女子ソフトボール選抜大会で、見事優勝した多治見西高等学校。馬場玲奈さんと仁平紗知さんはそんな強豪校に所属し、毎日練習に励んでいる。

馬場さんと仁平さんは、幼稚園時代からの幼馴染で、恵那東中学校在学時からソフトボール部に所属している。高校を決めるとき「もっと強いチームで戦いたい」と考え、選んだのが偶然二人とも多治見西高等学校だった。

高校では、愛知県や大阪府などからも強い選手が集まり、レベルが高く練習は厳しかった。練習量も多く、平日は3時間半から4時間、休日は7時間にもなる。「実は嫌になることもあった」と明かすが、ソフトボールが好きという気持ちで常にあり、励まし合って続けることができた。

優勝を果たした今大会では、昨

年のベスト16という成績を上回ることもできるよう、基礎練習から見直し、実戦練習も多く取り入れるなど工夫してきた。その成果もあり、県勢初の優勝をつかみ取る事ができた。仁平さんは、「優勝することができてうれしい。応援などでチームメイトのプレイを支えることができた。次の大会はレギュラーとして出場できるような頑張りたい」、馬場さんは「一緒に頑張ってきた仲間と優勝できてうれしい。今後は苦手なところを克服し、チームに貢献したい」と話す。

6月には、高校生活最後の大会が始まる。新たな戦いを前に二人は、「練習してきたことを出し切り、優勝できるように頑張りたい」と熱い意気込みを語った。



▲優勝後みんなで記念撮影



その他の話題もウェブサイトに掲載



3/17

日本大正村クロスカントリーで健脚を競う

第38回日本大正村クロスカントリーが明智町で開催され、エントリーした1,433人が起伏に富んだコースを駆け抜けました。2マイルの部で総合優勝を果たした山田昊侑さん(明智町)は、「自己ベストも更新でき、優勝できてうれしいです」と喜びを話しました。



3/13

笠周で市道「飯地中野方線」整備完了を祝う

中野方町と飯地町を結ぶ飯地中野方線の整備と、勢井後橋の架け替え工事が完成しました。同線は、可児市方面へ向かう西側玄関口としての役割や、荒天時のう回路としての役割を担います。完成式典には地元関係者など約80人が参加し、テープカットなどを行いました。



3/19

全日本高等学校女子サッカー大会で2連覇

▲後列左から6人目が柘植さん
第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会で優勝した、藤枝順心高等学校(静岡県藤枝市)2年生の柘植沙羽さんが市役所を訪れました。柘植さんは「自分でも2得点取ることができました。地元と静岡の皆さんの応援のおかげです」と喜びを語りました。



3/18

東野小学校で創立150周年を祝う

東野小学校で創立150周年記念式典が行われました。式典では、映像で150年の歴史を振り返った他、元プロバスケット選手の楯昌宗氏の講演会も行われました。児童会長の渡邊紗季さんは「今後も東野を大切に、恩返しできる大人になります」と話しました。



3/28

ポーランドの美術館と友好協力協定を締結

オリンピックのホストタウン事業からの交流が実り、「日本美術技術博物館マンガ(ポーランド共和国クラクフ市)」と本市の中山道広重美術館が、友好協力協定を結びました。この協定に基づいて、両館では芸術文化の研究や普及活動などを協力して行う予定です。



3/19

長年のソフトボール指導が評価 スポーツ功労賞を受賞

丸山年道さん(東野)と秋山茂登雄さん(岩村町)が、岐阜県地域スポーツ功労賞を受賞し、市役所で伝達式が行われました。丸山さんは「長年やってきたことが認められてうれしい」、秋山さんは「このような賞をもらえると思っていなかったのうれしい」と喜びを語りました。